No.706

ふくしまだより 広報

平成18年（2006年） 3月1日

発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課　〒197-8501 福生市本町5　☎042-551-1511（市役所代表）

市の花・つつじ　市の木・もくせい　市の鳥・ｼｼﾞｭｳｶﾗ

今号の主な内容

嘱託職員の募集 …… 2面
地域安全マップ発表会 …… 3面
国民健康保険税率等改定 …… 4面
介護保険法の改正② …… 5面
青少年海外派遣生募集 …… 7面
4月から容器包装プラスチックを資源として回収 …… 8面

福生市のホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

ご意見をお寄せください
「福生市まちづくり景観基本計画（案）」がまとまりました

問合せ 都市計画課都市計画担当

○「福生市まちづくり景観基本計画」は、市民、事業者、行政が共有する「福生市の景観づくりの将来像」を示す計画です。また、福生市の景観を守り、つくり、育てるための施策を長期的、総合的、体系的に推進するための「道しるべ」となるものです。平成17年3月に、公募市民28人で構成する「福生まちづくり景観会議」から提案された市民プランの内容を踏まえて、市では庁内策定委員会により検討を重ね、このたび「福生市まちづくり景観基本計画（案）」がまとまりました。

今回、この案を市民の皆さんにお知らせするとともに、案に対するご意見を募集します。市は、いただいたご意見を参考にして「福生市まちづくり景観基本計画」を策定する予定です。

本案では、福生市の景観特性と景観づくりの課題を整理し、共通する景観特性をもつ3つの景観ゾーンごとに、景観づくりの方針を描き、全体として実現するための推進体制や今後の取り組みについて示しています。

なお、景観基本計画（案）の全文は、市のホームページ、本庁舎2階情報コーナー及び各図書館、第4庁舎2階都市計画課窓口でもご覧いただけます。○

ご意見は、3月31日㈮までに次の方法でお寄せください。

郵送〒197－8501福生市役所都市計画課都市計画担当あて

ファクシミリ551・0530

市のホームページから http://www.city.fussa.tokyo.jp/ のトップページ【■市民のご意見箱】から必ず件名に景観基本計画（案）意見と明記してお送りください。

なお、いただいたご意見に対する個別の回答はいたしません。

福生市まちづくり景観基本計画（案）（抜粋）

◆私たちのめざす福生市の景観

(1)基本的な考え方
- 福生市の多様な魅力を残し活かす:「自然・歴史」
- 福生市に新しい魅力をつくり育てる:「住環境・商店街」
- 福生市民全体で盛り上げていく:「市民参加・協働」

(2)将来のすがた
みんなが外に出て歩きたくなる福生にしよう

(3)景観づくりの8つの方針（福生市全域の方針）
①多摩川、玉川上水などの「水」を軸とした景観づくりを進めます
②福生市の歴史や文化を尊重した景観づくりを進めます
③くらしを大切にした景観づくりを進めます
④個性豊かな、にぎわいを生む景観づくりを進めます
⑤広い空を感じられる景観づくりを進めます
⑥自然や環境と共生できる景観づくりを進めます
⑦景観と学習・教育の連携を進めます
⑧わり算のできる人づくりを進めます

◆推進体制の整備
- 市民参加のしくみづくり:提案制度の創設、各市民団体の協力・連携による連絡会の設置
- 行政の組織づくり:景観担当窓口の設置、庁内連絡会議による各部門との連携、市民提案を踏まえた調査・研究
- （仮称）公共事業連絡協議会の設置:景観形成に影響の大きい関係者による協議会の設置
- まちづくり景観審議会の設置:景観の形成に関する事項の調査・研究、審議

施設見学会に参加しませんか

今回の施設見学会は、昨年10月にオープンした「輝き市民サポートセンター」、1月にリニューアルオープンした市民会館・公民館を見学します。その後、市の茶室「福庵」で福生市茶道連盟の方によるお茶席の体験をします。

福庵

日時 3月23日㈭午後1時30分～4時30分
集合場所 市役所玄関前
対象 市内在住在勤の方
定員 先着35人
参加費 200円（保険代）
申込み 3月6日から20日までの間に参加費を添えて、直接広報係へ。参加者の方には市のピンバッジをプレゼントします。

きんもくせい

福生市長 野澤久人

福生エネルギー市民会議から提案を受ける市長

別れと旅立ちの季節

年度でいう3月は、年で言えば12月に当たります。12月は心の1年間の整理の時期で、3月は、環境変化への対応の整理をする時期といえそうです。

3月には、卒業式、修業式、退社、異動等さまざまな人生の中で変化が起こります。

生活の中で現在に安住することは楽なことですが、変化は不安定です。しかし、この不安定が人の進化を生む原動力になる可能性を秘めています。3月は、4月に新たな出発の時を迎えるために充分な準備をしておく時期といえるでしょう。

人生は有限です。さまざまな状況の変化の中で屈することなく、今がんばって進んでいく、その結果が、振り返っての自分の一生なのでしょう。

市を構成する一人ひとりの市民の皆さんは、それぞれに自分の人生を創っておられます。市役所は、そのような市民の皆さんの共通に必要な仕事をしています。

最近、自分のみの問題として考えていることが、共通の問題であることが多くなりました。どうか自分一人の問題として悩まずに、ご相談いただきたいと思います。